

令和3年10月31日執行

神奈川県第12区選挙区(藤沢市、高座郡)

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

水戸まさしプロフィール

昭和37年7月生まれ 藤沢市立善行小、藤沢一中、県立湘南高校、慶應義塾大学卒業、オムロン(株)入社
 平成7年 神奈川県議に当選(以来、連続3期)
 平成19年 参議院議員(神奈川県選挙区)に当選
 平成26年 衆議院議員(南関東比例ブロック)に当選
 平成30年 一般社団法人「人づくり・国創り研究会」代表
 ◆著書:「等身大のニッポン」
 ◆資格等: 税理士、行政書士、小型船舶一級、保護司など
 ◆家族: 妻、一男二女の5人家族

改革の第一歩は、藤沢&寒川から！

- 我が街、人材育成特区で **GO!**
- 健康寿命、フレイル予防 **YES!**
- デジタル社会の格差は **NO!**
- 脱炭素のモデルタウンで **GO!**
- 甘い将来予測での村岡新駅は **STOP!**
- 寒川町単独の公共施設建設は **STOP!**



国の再生は地方から！ 人づくりは国創り 教育の無償化を！

水戸まさしの維新八策

- 1 貴重な税金、1円たりとも無駄にせず
- 2 デジタル行政と「身を切る」改革を！
- 3 ICT教育による人財育成の推進
- 4 定年延長と再チャレンジ雇用の実施
- 5 新型コロナの教訓、次世代に繋げる！
- 6 原発なき、地域エネルギーのフル活用
- 7 モノづくり産業、空から宇宙へ！
- 8 延ばせ健康寿命！データ特区の創設



水戸まさしの維新八策はこちらでご覧下さい！



比例も維新

水戸まさし選挙事務所 〒251-0052 藤沢市藤沢109-6 湘南NDビル8F

水戸まさし

日本維新の会公認

比例区は

立憲民主党

命の軽視、暮らしの破壊に終止符を！

あべともこプロフィール

現在 小児科医、2000年衆議院議員初当選(連続7期)。子ども、医療、脱原発政策に邁進。衆議院内閣委員会、原子力問題調査特別委員会。立憲民主党子ども・子育てプロジェクトチーム顧問。党神奈川県総支部連合会代表。超党派議員連盟「原発ゼロ・再エネ100の会」事務局長、「補助犬議連」事務局長、立憲フォーラム副代表。

経歴 1948年東京目黒生まれ。1974年東京大学医学部卒。東大病院小児科、湘南鎌倉病院小児科部長、千葉徳洲会病院院長を経て、2003年藤沢に「あべともこクリニック」開設。

オフィシャルサイト <http://www.abetomoko.jp>
 ツイッター @abe_tomoko

立憲民主党ホームページ <https://cdp-japan.jp/>
 ツイッター @CDP2017

- ひとり1人の尊厳、豊かな民主主義、排除しない社会を。
- 医療、教育、環境、農業、エネルギーなど、いのちを支える政策を進めます。
- 山・川・海を守り
- 早期「検査・隔離・診断・治療」体制の確立を！
- 水際対策の徹底、変異株への迅速な対処を。
- 介護・福祉施設、学校など集団や地域での早期の社会的・予防的検査の拡充を。
- 感染症災害に備えた医療・研究体制を。
- コロナによる生活困窮者(女性、子ども、非正規、障害者等)への更なる支援を。
- 子どもの未来も現在も！
- 子育て・子育てもつと支える！
- いよいよ産後ケア制度がスタート！自治体での積極的な取り組みを。
- 不妊治療への保険適用実現！質の高い安心安全な医療へ。
- 保育や学童の充実と働く人の処遇改善を。
- 教育こそ基本、無償化のさらなる拡大を。
- 温暖化対策と経済再生に「原発ゼロ・再エネ100！」
- 避難計画なくして再稼働なし！危険度の高い原発から順次廃炉を進める！
- 2050年カーボンニュートラル、原発ゼロ、再処理ゼロ。
- 原発事故処理と福島復興は政治の責任！汚染水は海に流さない。
- 核廃絶！戦争はしない！
- 憲法9条改「正」
- 反対！
- 核兵器禁止条約が発効！
- 1日も早い批准と核兵器廃絶は被爆国日本の使命！
- 国中対立激化の中、アジア諸国との積極的な平和・人権外交の推進を。



あべともこ

立憲民主党公認

前へ、未来へ

一人ひとりのために、日本のために。 勇気をもって決断し、そして実行！

星野つよしプロフィール

1963年生まれ 藤沢市立長後小学校・長後中学校・神奈川県立鶴嶺高等学校 卒業。NYエルマイラ大学国際関係学科 卒業、日本大学法学部新聞学科 卒業。産経新聞社 政治部・社会部記者として勤務し、北朝鮮訪問など国内外の報道にたずさわる。報道の経験から政治家を志し神奈川県議会議員を3期務めた後、衆議院議員3期連続当選。第3次安倍内閣では経済産業大臣 兼 内閣府 兼 復興大臣政務官として、日本の未来を担う責任あるエネルギー政策の取りまとめにあたる。また、自由民主党国会対策委員会副委員長として政党間の各種調整にあたる。現在は自由民主党広報本部報道局長として、岸田総裁誕生後の記者会見で司会を務めるなど新聞記者の経験を活かし活動している。



新型コロナ収束へ向け

新型コロナの収束に向けて

- 患者も医療従事者も守れる医療体制の構築
- 仕事と暮らしを守る経済的支援のさらなる拡充
- ロックダウンを可能にするための憲法改正

減災・防災で命を守る

命を守る防災・減災の実現

- 安心できる水害対策のさらなる充実
- ライフラインを守る国の公共事業の推進
- 官民協働で安心できる防災計画の実現

ひとりも取り残さない社会へ

ひとりも取り残さない社会の実現に向けて

- 子ども庁による総合的な子ども支援
- 誰もが利用できるわかりやすいデジタル社会の実現
- 孤立や貧困を生まない地域の絆の再構築

安定した強い国内産業に

国内産業や地場産業の支援を推進

- 国外の事情に影響されない産業の育成
- 都市農業の多面的な戦略の支援
- 中小企業・個人事業者への支援拡大と雇用環境の充実を推進



星野つよし

自民党公認 58歳